

(臨床研究に関する公開情報)

名古屋医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当院の骨幹部骨折患者における術後成績、骨粗鬆症の現状及び骨癒合、機能的回復についての検討

[研究責任者]

整形外科 専攻医 川田 紘己

[研究の背景]

骨幹部骨折はさまざまな年齢の方に発生し、折れ方は多彩で、治癒に至る道も一様ではありません。受傷起点は成人、小児、高齢者で大きく異なります。成人は、交通事故や転落などの極めて強い外力の作用により生じる場合が多く、また、高エネルギー外傷でその他の部位（四肢など）の骨折や他の外傷（頭部、胸部、腹部）を伴うことも多く注意が必要となります。小児（特に5～6歳以下）では強い外力で生じる骨折であり稀ではありますが、交通事故や転落、虐待などが多い傾向にあります。高齢者では骨粗鬆症を基盤とした骨脆弱性骨折が多く、加えて合併症を多く抱えていることも多い傾向にあります。

そこでこの骨折におけるADL、QOLやイベント発生との関連の調査、また、非定型骨折や若年性の稀な症例、骨粗鬆症治療の現状、術後成績などを検討することができれば骨幹部骨折の予防またはさらなる予後の改善に繋がると考えられます。

[研究の目的]

この臨床研究は当院で骨幹部骨折に対して観血的治療を行われた患者さんに対して後向き研究を行い、臨床的な問題点と評価法の課題を調査することを目的としております。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦2003年4月1日から西暦2018年3月31日の間に骨幹部骨折に対して手術加療を受けた方

●研究期間

当院の臨床研究審査委員会承認後、研究実施許可日から西暦2021年4月30日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

- 患者さんの基本的な情報
（性別、身長、体重、既往歴、受傷前及び退院時の生活場所、歩行能力など）
- 臨床情報
（診断確定日、診断名、治療方法、治療薬など）
- レントゲン検査、CT 検査、MRI 検査
（骨強度、骨折部の状態、骨癒合の有無など）
- 血液検査結果
（1 型プロコラーゲン-N-プロペプチド値、酒石酸抵抗酸性フォスファターゼ値など）
- 理学療法評価
（動作能力、アンケートによる生活動作能力評価、認知症評価の結果など）
- 検体や情報の管理
検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

【研究責任者】

川田 絃己 整形外科 専攻医

【研究分担者】

佐藤 徹	整形外科	診療部長
黒田 崇之	整形外科	医師
川澁 雄大	整形外科	医師（レジデント）
金子 倫也	整形外科	医師（レジデント）
塩田 直史	リハビリテーション科	医長

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者 整形外科 医師 黒田崇之 が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構

岡山医療センター

研究責任者 整形外科 専攻医 川田 絃己

電話：086-294-9911 （代表）